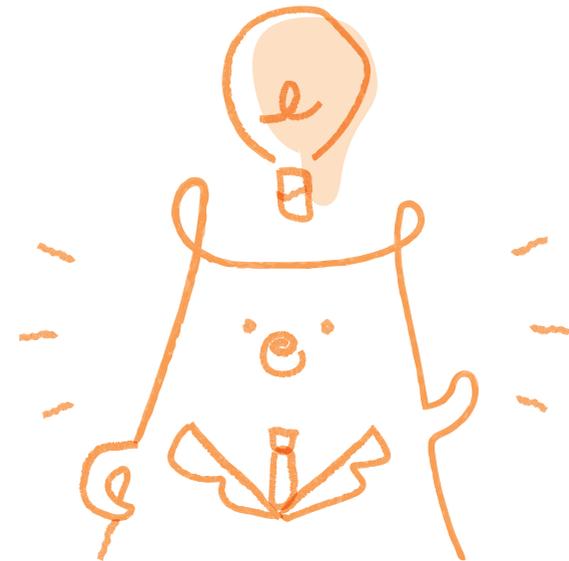


基本目標

6

【産業振興・地域振興】

みんなが働きたくなる、
活気のあるまち



施策 1 商工業の活性化



めざす姿

- 起業・創業しやすい環境をつくり、事業者の活動を支援することで地域経済の活性化、まちの魅力向上をめざします。
- 産学官^{P152}の連携や事業者同士の連携を進め、地域資源を生かした野々市らしい産業の創出をめざします。

現状と課題

市内の経済活動を活性化させていくためには、地域経済の担い手となる事業者が時代の変化に対応できるよう、また、新たな取組に挑戦できるよう支援することが求められています。

また、市内に複数の大学やいしかわ大学連携インキュベータ(i-BIRD)^{P151}が立地している特色を生かし、新規創業や次世代産業^{P153}、本社機能などの立地を促進していくことが重要です。

野々市市では、野々市ブランド^{P154}認定制度など、野々市らしい製品の発信を通じた地域振興に取り組んでいますが、さらなる発展に向けて、製品の発掘や制度の改善、認定後の販売促進などを進めていくことが重要です。

これらに加え、感染症の流行や未曾有の大災害など、社会に大きな影響を与える事象が発生した際にも、市内の中小企業・小規模事業者が事業を継続していけるよう、支援や情報提供を迅速に行う仕組みづくりが求められます。



1の1 NONOICHI内シェアオフィス



野々市ブランド認定品

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 経営体質や基盤の強化 事業活動の活性化や経営基盤の強化に向けて、県や商工会などと連携し、多様な支援施策の情報提供などを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な支援策の構築と迅速な実施 ・公的支援制度など、経営に必要な各種情報の提供 ・事業活動継続のための資金繰りなどに関する支援
2. 産学官連携による次世代産業の創出・育成 産学官での連携を進め、企業の本社機能移転の誘致や次世代産業の創出・育成を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携による次世代産業の創出・育成 ・本社機能移転の補助
3. 創業支援の充実 起業に興味・関心や意欲のある人を支援できる環境づくりを進め、地域の新たな需要や担い手を掘り起こし、創業支援を進めます。また、創業者に対し初期段階での事業継続支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規創業に係る情報提供、補助制度、資金繰り支援などの充実 ・シェアオフィス、シェアキッチンなどの活用促進 ・創業に関するセミナーなどの開催
4. 地域資源やつながりを生かした産業の活性化 事業活動を活性化するため、事業者同士が連携できる機会の確保を進めます。また、「野々市ブランド」の魅力向上や認知度を高める取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・交流イベントなどによる事業者同士の連携促進 ・野々市ブランド認定制度の推進 ・県内外で開催される各種イベントを通じた野々市ブランド認定品などのPR推進

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度目標値 (5年後)	[参考]令和13年度目標値 (10年後)
産学官連携事業件数	3件	4件	5件
企業誘致件数 (計画期間中の累計)	1件	2件	4件
市の創業支援に基づく市内起業家数 (計画期間中の累計)	21人	100人	200人
野々市ブランド認定品数(累計)	5点	11点	16点

めざす姿に向けて…

- ▶ 市民に期待すること
 - ・野々市ブランド認定品や野々市市にゆかりのある製品を購入するとともに、市外の人にその魅力を伝える。
- ▶ 市民と行政が協働で取り組めること
 - ・野々市ブランド認定品や野々市市にゆかりのある製品について、事業者と行政が連携しプロモーションを行う。
- ▶ 関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組
 - ・野々市ブランド認定品や野々市市にゆかりのある製品を、市内外で積極的にプロモーションを行うとともに、インターネット販売などで多くの人に触れてもらう機会をつくることを促す。

施策 2) 農業の活性化



めざす姿

- 地域産業を担う人々や市民全体で地産地消の推進を図りながら、野々市市の特性を生かした農業と地域の活性化をめざします。
- 美しい景観ともなっている農地を保全するとともに、市民が気軽に農業に関わることができる環境づくりを進めます。

現状と課題

農業の活性化に向けては、農産物の生産と消費ニーズを向上させていくことが必要です。

農産物の生産については、農業者の高齢化や担い手不足、農地の減少など、現状は厳しい状況となっていることから、新たな地域振興作物の生産やそれらを使用した特産品の開発など、農業者の経営を支援するとともに、現存する農地の有効活用や環境に配慮した農業の推進を図る必要があります。また、担い手の確保に向け、農業体験やイベントなどを通じて農業への関心を高め、すそ野の拡大を図るほか、新規就農者への技術支援などに取り組むことが求められます。

農産物利用機会の拡大に向けては、イベントなどを通じて、「食」と農業、環境との関連性について市民の関心を高めることや、学校給食をはじめ、市内で地産地消の取組を推進するとともに、新たな地産品や特産品のPRを行い、野々市産の農産物の魅力を市内外に広めていくことが求められます。



米づくり体験



フレッシュじよんから市

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 魅力ある農産物の生産支援 野々市産の農産物の魅力向上に向け、地域振興作物や特産品をはじめとした付加価値の高い農作物の生産を支援します。 また、農産物生産団体、農協、大学などと連携し、市内農産物のブランド化や6次産業化 ^{P155} を進めます。	・地場農産物の振興 ・地域特産加工品の普及促進支援 ・営農活性化の推進
2. 関係団体との連携による農業振興と地産地消の推進 関係団体との連携を強化し、農業体験や食の大切さを伝える事業を通じ、農業や野々市産の農産物への市民の関心を高めるとともに、地産地消につなげるための取組を進めます。また、多面的な機能を有する農地や水路の保全に市民と共に取り組みます。	・市民が農業を身近に感じられる取組の促進（市民農園、学童農園など） ・地産地消の推進 ・農地や水路の適切な保全
3. 経営基盤の強化と担い手の確保 農地の有効活用を進め、効率的で安定した農業者の経営基盤の強化を支援するとともに、農業への関心を高め、担い手の確保を進めます。また、土地や販路の確保、技術支援など、未経験者でも安心して農業を始めやすい環境づくりを進めます。	・農業経営基盤の強化促進 ・新規就農者への支援

(分野別計画) 農業振興地域整備計画、食育推進計画

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度目標値 (5年後)	[参考]令和13年度目標値 (10年後)
地域特産物作付け面積	21a	35a	39a
特産物などのブランド化(累計)	2件	3件	4件
生産者団体などによる直売回数	68回	74回	81回

めざす姿に向けて…

- ▶ **市民に期待すること**
 - ・地場農産物の消費を心がけ、地産地消を意識する。
 - ・農業体験やイベントに参加し、農業や農産物について関心を持つ。
- ▶ **市民と行政が協働で取り組めること**
 - ・市と農業者、飲食店で協力し、地元の農産物を気軽に食べてもらえる機会をつくる。
- ▶ **関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組**
 - ・県外で行われるイベント、マルシェなどへの参加や、ふるさと納税^{P155}返礼品への出品により、野々市産の農産物のPRを行う。

施策 3 働きやすい環境づくり



めざす姿

- 個々の実情に応じ、多様な働き方を選ぶことができる仕組みや、誰もが働きやすい環境の整備をめざします。
- 希望する全ての人々が働くことができる受け皿の充実をめざします。

現状と課題

地域の活力を維持し、市民が安心して安定した生活を送るために、誰もが働きやすい環境づくり、働く機会の創出は非常に重要です。

職場での差別やハラスメントは、就業環境を悪化させることに加え、職場の活力や生産性も低下させることが指摘されています。また、近年では、ワーク・ライフ・バランス^{P155}を推進するため、出産・子育て、介護などと仕事との両立を支援する制度の整備が進んでいます。このことから、関係機関と連携しながら、ライフステージに応じた柔軟な働き方ができるよう、制度の利用を雇用主と従業員双方に促すなどの支援をしていくことが重要です。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大などを契機に、全国的にテレワーク^{P154}の導入が進んでいます。今後、地方に暮らしながら都市圏の会社に所属した業務を行うなど、新しい働き方が生まれる機運が高まっており、これらの変化に柔軟に対応していくことが必要です。

加えて、地域の活力を維持するためには、働く世代が地域に住み続けられることが重要であり、市内大学の卒業生やU/Iターン^{P156}を希望する人の安定的な雇用の受け皿となる産業の誘致・創出・育成を進めることが必要です。



女性と企業をつなぐマッチング交流会

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. 誰もが自分らしい働き方ができる環境づくりの推進 国や県などの関係機関と連携し、女性や若者、中高年齢者をはじめとして、誰もがそれぞれのライフスタイルに応じて自分らしく働くための環境づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい働き方応援事業の実施 ・多様な働き方を後押しする創業支援 ・関係機関と連携した就職支援 ・事業者と働きたい人のマッチング支援
2. 安心して働くための経済基盤の支援 住宅取得支援や生活資金融資利子補給など、勤労者の生活の安定に向けた支援を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者のための生活支援 ・各労働団体への支援
3. 大学や県、周辺自治体と連携した大学生の定住促進 大学や石川中央都市圏 ^{P151} 域全体で連携し、学生の就業機会確保のための取組を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した県内就職についてのPR ・広域連携による学生の就業機会確保のための取組の実施

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度 目標値 (5年後)	[参考]令和13年度 目標値 (10年後)
雇用増進奨励金の交付件数	6件	10件	10件
新しい働き方応援事業の啓発回数	1回	1回	1回

めざす姿に向けて…

- ▶ 市民に期待すること
 - ・働きがいがあり、誰もが活躍できる職場づくりを推進する。
 - ・卒業後の進路として、県内企業への就職にも興味を持つ。
- ▶ 市民と行政が協働で取り組めること
 - ・働くニーズに応じて、関係機関と連携しながら就業機会の創出に取り組む。
- ▶ 関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組
 - ・大学や周辺自治体と連携し、学生に向けて野々市市や石川県のPRを行う。

施策 4 魅力の創造・発信によるにぎわいの創出



めざす姿

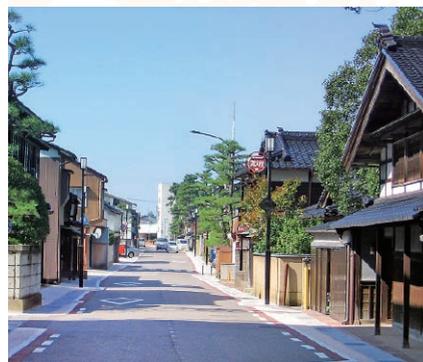
- 古くから伝わる歴史・文化資源と、新しく生み出される産品や拠点などの活用と情報発信を図り、野々市市の魅力向上とにぎわいの創出をめざします。

現状と課題

野々市市は、御経塚遺跡や末松廃寺跡といった歴史遺産のほか、国指定重要文化財喜多家住宅をはじめとした町家などが残る旧北国街道、伝統的なじょんから踊りなど、魅力的な固有の歴史・文化を持つまちです。また、さまざまな団体や事業者が連携し、新たな産品の開発やそのブランド化などが進められています。

このような、多様な分野で守り、育てている地域資源を市民、関係団体、企業、大学などと連携して磨き上げるとともに、その魅力が広く知られ、にぎわいの創出につながるよう取り組む必要があります。

また、情報発信のあり方についても、オンライン^{P151}の活用や主に県外在住の野々市市出身者で構成する野々市会などのさまざまな組織との連携のほか、社会状況に合わせた効果的な方法を検討し、取り組む必要があります。



旧北国街道



野々市じょんからまつり

施策の取組方針

取組概要	主な事業
1. ののいちの魅力創造 歴史的街並みや文化財など、今ある歴史・文化資源について、保全や修復、魅力の再発見など、活用に向けた磨き上げを進めます。 また、新たに生み出される産品や地域資源などについても、関連団体との協働によりその魅力を高めていきます。その上で、各地域資源につながりを持たせ、人の流れをつくる仕掛けづくりに取り組みます。	・歴史資源や文化財を活用した魅力創造 ・観光物産協会や各種ボランティア団体、企業、大学などと連携した地域資源の魅力増進
2. ののいちの魅力発信 野々市市の魅力を市民に知ってもらえるよう普及啓発を進めます。 また、市外や県外の人にも周知を図るため、野々市会をはじめとしたさまざまな組織と連携するとともに、多様な手段を利用して、効果的に魅力を発信していきます。	・文化財普及啓発事業 ・ホームページ、SNS ^{P156} などを用いた情報発信 ・野々市会などとの連携による魅力発信
3. ののいちのにぎわいづくり 安全に配慮したイベント運営に努めるとともに、イベントの企画や開催に関して幅広い世代の市民の関心を高め、参加者や担い手の育成を進めます。 また、感染症の拡大などの影響を踏まえ、新たな取組や手法を検討します。	・本町通り周辺を含む旧北国街道のにぎわい創出に向けた取組の実施 ・じょんから踊りの担い手育成 ・野々市じょんからまつり、ののいち椿まつりの開催 ・観光様式の変化に合わせた新たな取組の検討

成果指標

成果指標	現状値	令和8年度目標値 (5年後)	[参考]令和13年度目標値 (10年後)
野々市市の魅力が他の地域に発信されていると感じている市民の割合	27.8%	32.0%	36.0%
野々市じょんからまつり来場者数	32,219人	33,000人	33,000人
ののいち椿まつり来場者数	2,520人	6,500人	6,500人

めざす姿に向けて…

- ▶ **市民に期待すること**
 - ・野々市市の魅力を市外や県外の友人や知人に伝える。
 - ・市や観光物産協会などが開催する事業やイベントに参加する。
- ▶ **市民と行政が協働で取り組めること**
 - ・関係団体と連携して、市内の魅力を発信できるイベントを開催する。
 - ・野々市らしい魅力・特色を市民、行政、事業者で連携してPRを行う。
- ▶ **関係人口(野々市ファン)拡大に向けた取組**
 - ・県内外のイベントなどにおいて野々市市の取組や魅力のPRを行う。
 - ・じょんから踊りの継承に取り組み、じょんからファンを継続的に増加させる。